

第 66 巻の広告掲載会社名および商品名

アステラス製薬 (株)	田辺三菱製薬 (株)	ルパフィン
中外製薬 (株)	乳がん領域製品	

(ABC 順)

編集委員会

編集委員長：伊豫田 明
 編集委員：赤羽 悟美 弘 世 貴 久 池 田 隆 徳
 石井 良和 片 桐 由起子 近 藤 元 就
 三上 哲夫 水 野 雅 文 中 野 裕 康
 佐藤 二美 島 田 英 昭 和 田 弘 太
 編集顧問：杉 山 篤 津 熊 久 幸

(ABC 順)

編集後記

本号は第72回東邦医学会総会シンポジウム「感覚器領域における薬物治療」をめぐる総説を中心に、原著1、症例報告1、第153回例会抄録、分科会抄録、3本の連載を含め、充実した誌面が完成した。執筆者諸氏にこころから御礼申し上げたい。

本誌のような日本語で刊行される総合医学雑誌の存在意義は、読者と執筆者、編者が日頃の関心や共通するトピックスを、ありのままに語れる場であることだろう。

先日、もはや高齢者さえも増えない東北地方の人口減少県における医療サービスのあり方を、県庁や関連部署の方々々と議論する機会があった。面積は大田区の200倍に及ぶが県内総人口は大田区を上回る程度である。少子高齢化は全国どこも同じ傾向だが、人口動態には大きな地域差がある。遠隔診療と自動運転は地域医療の喫緊の課題との言葉に、納得した。

一方「大田区人口ビジョン」によれば、一時減少した大田区の人口は2015年に71万人を超え、なお人口増加が続いている。推計根拠にもよるが、予測では2040年ころに80万人、2060年には84万人を超えるとされている。「東京都の人口概要」によれば現在でも人口増加中の区部は世田谷区、品川区、大田区などごく限られた地域であるが、いずれも他県や他国からの流入者によることが示されている。

本医学会のある蒲田は、羽田国際空港を擁し外国人居住者が増え続ける国内随一の地域に位置する。日本の玄関、

アジアや世界へのゲートウェイに位置するこの地域のあり様は、これから先も急速に変化するとともに、世界でも類を見ないユニークな存在になっていくに違いない。ローカルな課題の積み上げから地域包括の時代を先駆けるモデルを提案するには、使い慣れた日本語で多くの立場からの参加が求められよう。医療に関わる多職種の専門家に、地域特性に立った最新の情報、ディスカッションを提供することは本誌の重要な役割だと思う。

(水野雅文)

東邦医学会雑誌 第66巻 第2号

令和元年6月1日発行

編集兼 伊豫田 明
 発行人

〒143-8540 東京都大田区大森西5丁目21番16号
 東邦大学医学部本館 3階

東邦大学医学会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3762-5077

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原3-46-10

株式会社 杏林舎